

環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
成果報告会 発表資料

活動団体名：七尾街づくりセンター株式会社
活動地域：石川県七尾市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

面白い経営者・事業者を育てる！

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

————— 今年度当該事業
 - - - - - 今年度未着手事業(次年度以降に予定)
 - - - - - 将来的希望

② 地域のおきらめ感

③ 個性豊かな人材 ③ 地場産業や伝統文化

④ てみるフェス ④ 七尾経済研究所

⑥ 七尾街づくりセンター

⑤ 七尾愛が深まる

⑤ 担い手の増加 ⑤ 空き家の増加抑制

⑥ Nプランニング ⑥ 七尾街づくりセンター

④ 中島100人会議 ④ 家ぐるっとリサイクル事業

③ 地域の伝統文化 ③ 古民家などの空き家

② 集落の維持 ② 空き家の増加

⑤ 農作物被害の減少 ⑤ 知名度UP

⑥ 不在 ⑥ なお・なかのとDMO

④ 猪討伐事業 ④ 英語での情報発信

③ 農産物/ICT ③ 伝統文化(観光)

② 猪の被害 ② 外国人旅行者が少ない

② ICT化の遅れ ② 人材不足(若者) ② グローバル化の遅れ

③ 地場産業/海産物・農産物

④ 事業承継オーケストラ・能登の人事部/経理部
ビジネススクール・人材募集説明会・移住定住支援
助っ人deプロジェクト加速させ隊

④ 海外への販路拡大
④ 外国人の教育・採用

⑥ 七尾街づくりセンター ⑥ 不在

⑤ 魅力的な稼げる企業の増加・域内収支の改善

能登の里山里海と共に豊かな暮らしができる
「小さな世界都市・七尾」

⑤ 環境保全・域内収支の改善

④ 再エネ事業(地熱・小水力)など

⑥ 不在 ③ 能登の里山里海・温泉

② 里山里海の荒廃

⑤ 関係人口(ファン)の増加

⑥ 七尾市 ⑥ マリンシティ協議会 ⑥ 能登島しまおこし団
⑥ 御碓川

④ スポーツ合宿 ④ 帆船レガッタ ④ ローカルエコツーリズム

③ テニスコート・サッカー場 ③ 七尾港 ③ 能登の暮らし/伝統文化
生活の知恵や祭り

② スポーツツーリズムの開発 ② 港町の存在感が希薄化 ② 伝統文化の保全

地域のビジョンを実現するための成果指標

里山里海と共に豊かな暮らしができる 「小さな世界都市・七尾」

短期目標

長期目標

環境

草刈りや清掃活動の参加人数

耕作放棄地の面積

空き家の利活用の件数

危険空き家の数

経済

「てみるフェス」チャレンジのプログラム数

創業・事業承継件数

新規事業の数

域外への地元製品の販売額

社会

メディアの掲載件数

UIターンの数

FBなどSNS投稿数

副業兼業など関係人口の数

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	助っ人deプロジェクト加速させ隊	
	事業の概要	<p>地域における一番のボトルネックは、人材（プレイヤー）不足である。そのためにやりたいことがストップしている状態であることが多い。これまでも移住には力を入れてきたが、移住はハードルが高いため、副業兼業やプロボノ、ボランティアなどあらゆる形で地域と関われる仕組みを構築する。</p> <p>事務局が主体となり、都市と地域で人材の循環を加速させることにより、地域内のプロジェクトが進行し、環境経済社会への効果を発揮する。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>地域内の事業者の事業（プロジェクト）の切り出しとそれに対応する適切な人材のマッチング。またその費用負担。</p>
2	事業の名称	家ぐるっとリサイクル事業	
	事業の概要	<p>人口減少による七尾市内の空き家は年々増加しており、その率は20%近いと言われている。その中には良質な古民家も多く、資産が眠っている状態にある。また地方にとって、暮らすと働くは一体であり、良質な住居が移住定住の条件にもなることから、「住まいのコンシェルジュ」を配置する。古民家などをシェアハウスや移住体験住宅、民泊などを含め、利用促進することで危険空き家を減少させる人と住まいの循環型社会を目指す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>地域と大家の理解。 空き家の修繕費の負担。</p>
3	事業の名称	チャレンジを応援する「てみるフェス」	
	事業の概要	<p>新たなチャレンジを応援するてみるフェス。地域を面白くするため、地域内でニュースを作るため、各事業者や組織団体の新しい取り組みを支援する。特に楽しみながら目の前の社会課題にもチャレンジすることで、その連鎖を大きくし、社会的インパクトを出していく。それが循環することで、能登七尾がオモシロイ地域であることの認知を深めていき、関わる人を更に増やしていく仕掛け。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>事務局を中心とした実行委員会に関わるメンバーの確保とその費用負担。チャレンジしたい人や組織団体はある程度の目途は立っているが、中間支援（プラットフォーム）として、そのチャレンジを支える人を確保することが難しい。</p>

今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 本省の方が来訪して頂いたこと。ステークホルダーを呼び掛けるのに役立ち、多くの関係者と一堂に会することができた。ビジョンや課題の共通認識を作りやすい。
- 一次産業の事業者や各地域、集落などへ入っていきやすい。

今後の意気込み

- 地域の人材不足を解消するため、兼業副業、プロボノ人材とのマッチングの仕組みを構築したい！（6～8月くらいに）9月からはスタートできるように！
- 地域のプラットフォーム（中間支援組織）として、稼ぐ仕組みを模索しているが、確立したい。

地域の活動の上での課題

- ステークホルダーの巻き込みについて、どの範囲まで広げるか。巻き込みたい人がいても、プロジェクトがなければ、なかなか巻き込みづらい部分があった。
- 成果指標について、書きづらかった。「指標の手引き」での例示が③と④が一对で指標を出しているが、実際はそうでないものも多いと思います。もう少し詳細の例示を増やすか、説明会相談会などを実施してもらいたかった。あと、マンガラやコア事業との書類の整合性など。
- 求められる書類作成など事務量が多く、その作成時間のために実際の活動に時間を多く確保することができなかつたのが残念だった。補助金額と事務量のバランス。